

授業科目名	演習（広域看護） <i>Seminar in Life-support Nursing II</i>			担当教員	高橋 清美、山勢 善江 小林 裕美、濱元 淳子 石飛 マリコ、西村 和美
開講年次	1年通年	セメスター	1・2	時間数(単位数)	120 (4)
必修選択	専攻領域必修	授業形態	演習	使用教室	
授業の目的	各専門領域における国内外の文献をゼミ形式で講読し、クリティークを行う。文献レビューやフィールド活動を通して、各自の研究課題を明確にし、相応しい研究方法を選び、実施可能なレベルの研究計画書を作成する。				
到達目標	1. 文献検索の方法および文献の種類について理解できる 2. 文献レビュー、論文クリティークを通して、研究の方向性を定めることができる 3. 研究計画書の構成および作成方法が理解できる				
授業計画	1回 演習計画のスケジュールおよび、研究動機とテーマについての討議 (山勢、高橋、小林、濱元、石飛、西村) 2回 クリティークの方法 (永松、中村、高橋、柳井、小川、濱元) 3回 質的研究論文のクリティークと討議・発表 (永松、中村、高橋、柳井、小川、濱元) 4回 量的研究論文のクリティークと討議・発表 (永松、中村、高橋、柳井、小川、濱元) 5回 量的研究論文のクリティークと討議・発表 (永松、中村、高橋、柳井、小川、濱元) 6回 英文献の検索方法 (永松、中村、高橋、柳井、小川、濱元) 7回 文献レビューおよびクリティーク・討議 (1) (高橋、山勢、小林、濱元、石飛、西村) 8回 文献レビューおよびクリティーク・討議 (2) (高橋、山勢、小林、濱元、石飛、西村) 9回 文献レビューおよびクリティーク・討議 (3) (高橋、山勢、小林、濱元、石飛、西村) 10回 文献レビューおよびクリティーク・討議 (4) (高橋、山勢、小林、濱元、石飛、西村) 11回 文献レビューおよびクリティーク・討議 (5) (高橋、山勢、小林、濱元、石飛、西村) 12回 文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (1) (高橋、山勢、小林、濱元、石飛、西村) 13回 文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (2) (高橋、山勢、小林、濱元、石飛、西村) 14回 文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (3) (高橋、山勢、小林、濱元、石飛、西村) 15回 文献レビューおよび研究の仮テーマの検討 (4) (高橋、山勢、小林、濱元、石飛、西村) 16回 研究の仮テーマの確定 (高橋、山勢、小林、濱元、石飛、西村) 17回 研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (1) (高橋、山勢、小林、濱元、石飛、西村) 18回 研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (2) (高橋、山勢、小林、濱元、石飛、西村) 19回 研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (3) (高橋、山勢、小林、濱元、石飛、西村) 20回 研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (4) (高橋、山勢、小林、濱元、石飛、西村) 21回 研究の仮テーマにそった文献レビューとクリティーク (5) (高橋、山勢、小林、濱元、石飛、西村) 22回 文献レビューに基づき研究計画書の作成 (1) (高橋、山勢、小林、濱元、石飛、西村) 23回 文献レビューに基づき研究計画書の作成 (2) (高橋、山勢、小林、濱元、石飛、西村) 24回 文献レビューに基づき研究計画書の作成 (3) (高橋、山勢、小林、濱元、石飛、西村) 25回 研究計画の中間報告 (高橋、山勢、小林、濱元、石飛、西村) 26回 研究計画に関する修正・検討 (1) (高橋、山勢、小林、濱元、石飛、西村) 27回 研究計画に関する修正・検討 (2) (高橋、山勢、小林、濱元、石飛、西村) 28回 研究計画に関する修正・検討 (3) (高橋、山勢、小林、濱元、石飛、西村) 29回 研究計画に関する修正・検討 (4) (高橋、山勢、小林、濱元、石飛、西村) 30回 研究計画に関する修正・検討 (5) (高橋、山勢、小林、濱元、石飛、西村)				
学習方法	全領域共通の講義・討議に加え、領域ごとにゼミナール形式で行います。各自が研究テーマを確定し、研究の方向性を導き出せるように進めてください。				
オフィス ア ワ ー	金曜日の昼休みもしくはメールによるアポイントに応じます。 山勢 y-yamase@jrckicn.ac.jp 小林 h-kobayashi@jrckicn.ac.jp 高橋 k-takahashi@jrckicn.ac.jp 濱元 j-hamamoto@jrckicn.ac.jp 石飛 m-ishitobi@jrckicn.ac.jp 西村 k-nishimura@jrckicn.ac.jp				
テキスト	特に指定しない				
参考文献	参考文献は、授業中に適宜紹介する。				
評価方法	授業への参加度・プレゼンテーション (50%) 研究計画書 (50%)				